

様式第 36 の 3 (第 27 条の 4 の 2、第 38 条の 14 関係)

【書類名】 回復理由書

(【提出日】 令和 年 月 日)

【あて先】 特許庁長官 殿

【出願の表示】

【出願番号】

【特許出願人】

【識別番号】

【住所又は居所】

【氏名又は名称】

【代理人】

【識別番号】

【住所又は居所】

【氏名又は名称】

【回復の理由】

(【手数料の表示】)

(【予納台帳番号】)

(【納付金額】)

【提出物件の目録】

[備考]

- 1 「【回復の理由】」の欄には、特許法第 41 条第 1 項に規定する先の出願の日から 1 年以内又はパリ条約第 4 条 A(1)に規定する優先期間内に特許出願をしなかつたことが故意によるものでないことを表明するものとする。また、特許法第 41 条第 1 項に規定する先の出願の日から 1 年以内又はパリ条約第 4 条 A(1)に規定する優先期間内に特許出願をすることができなかつた理由について簡明に記載する。
- 2 第 27 条の 4 の 2 第 8 項 (同条第 9 項において準用する場合を含む。) 及び第 38 条の 14 第 7 項 (同条第 8 項において準用する場合を含む。) の規定により、2 以上の事件について回復理由書を提出するときは、「【出願の表示】」の欄には、「別紙のとおり」と記載し、別の用紙に次のように「【別紙】」と記載して、当該回復理由書の提出に係る出願の表示 (出願の表示の区切りには読点「、」を付すこと。) を記載する。

【別紙】

特願○○○○-○○○○○○、特願○○○○-○○○○○○、  
特願○○○○-○○○○○○、特願○○○○-○○○○○○

- 3 その他は、様式第 2 の備考 1 から 4 まで、10 から 14 まで、16 から 18 まで及び 21 から 26 まで、様式第 4 の備考 2、様式第 15 の 2 の備考 2、様式第 26 の備考 9 並びに様式第 31 の 9 の備考 1 及び 3 と同様とする。この場合において、様式第 31 の 9 の備考 1 中「備考 4 に該当する場合」とあるのは「備考 2 に該当する場合」と、備考 3 中「第 25 条の 7 第 8 項、第 31 条の 2 第 7 項、第 38 条の 2 第 5 項及び第 38 条の 6 の 2 第 6 項」とあるのは「第 27 条の 4 の 2 第 6 項 (同条第 9 項において準用する場合を含む。) 及び第 38 条の 14 第 5 項 (同条第 8 項において準用する場合を含む。)」と読み替えるものとする。